



## 令和5年5月24日 第1回学校運営協議会が開催されました

学校運営を『地域そうがかり』で支える事を目指して、保護者・地域の代表・学校などで組織した学校運営協議会を設置して2年目を迎えました。

### 第一部 学校運営の基本方針について

第一部では、学校運営計画・学校予算・施設整備などについて説明を受けて意見・質問が交わされた後、承認されました。特に、保護者・地域の皆さん・学校職員で協働するために大切にしたい事について、佐藤校長より以下のお話がありました。

#### 学校運営協議会委員メンバー

会長	山田道夫	地域代表
副会長	馬場一也	
委員	渡辺菱三	
	小松茂夫	
	市嶋範恵	
	田邊葉子	
	齋藤宏明	保護者代表
	土屋 冠	
事務員	佐藤孝一	校長
	武樋伸明	教頭
	佐藤竜二	主幹
	池野直子 菅井葉子	

### 新津一中で、子どもたちのために「大切にしたいこと」

一人一人の可能性を引き出し、力を伸ばし  
自信と誇りをもたせる学校

「自己肯定感（自分には価値がある、大事にされている）」  
「自己有用感（自分は誰かの役に立っている）」  
「自己効力感（自分ならできる、きつとうまくいく）」

そのためには



☆他の人や何かと比較することなく、子どもの全てをまるごと受けとめる

大人の理想・都合＝「こうあるべき」はNG

☆どんなに小さな（少しの）ことでも、プラスにとらえて認める・ほめる

結果ではなく、努力・挑戦している様子进行评估

☆「小さな成功体験」を繰り返す・積み重ねる

うれしい・よろこびを感じる場面を

### 学校は生徒が主役！

- 子どもたちの健全な成長には、周囲で支える保護者・地域・学校職員が良好な関係でいることが大切です。
- PTA（保護者・学校職員）も一人一人の良さや強みを活かしながら、協働していきましょう！

## 意見・質問

◎先生との関係性が大事だと思うのですが、先生と子どもたちに意識のズレがあるのでは。

➡ 些細な事でも職員チームで情報共有していきたい。

◎コロナ前に行っていた小中連携のあいさつ運動は？ ➡ これから行う小中連携会議で立案予定（7/11(火)~7/13(木)の三日間実施することになりました。）

◎コミュニティスクール(CS)が始まったことによる効果は？

➡ これから小中学校のPTA連合会のCS勉強会があるので、結果を次の会議で報告できれば3年後の部活動の地域移行について、地域の子どもたちに（一中に限らず）何ができるか考えていくことができる。

### 学校から

- ・子どもたちを交えたCS会議（子どもたちと地域の皆さんの要望のすり合わせ）実施を目指したい。子どもたちを蚊帳の外にしないことが、CSの進展になる。
- ・学校のきまり（男女の制服など）の見直し



第二回学校運営協議会は8月2日、小中合同会議（一小・三小・一中）となります。

## 第二部 令和5年度地域と学校パートナーシップ事業推進会議

二部はパートナーシップ事業に関わっていただいている地域の皆さんに加わっていただき今年度の事業計画を説明しました。

### 今年度の活動について



- ・全校生徒による稲作体験活動  
→地域の皆さんと共に活動を支える
- ・特色のある探究学習と学習の成果の発表を行なう  
→地域・行政とかわり合い学習を進めていく
- ・公民館と連携したイベントの実施
- ・地域活性化イベントへの積極的な参加

今年度は、一中学区の二つのコミ協（中央・西部）とのかかわり合いから生じる活動など、子どもたちが地域との活動に積極的に取り組める機会を作っていきたい思います。

### 推進会議に参加して下さった地域の皆様

本望新津第一中学校同窓会会長・中村中央コミュニティ協議会会長・蓮沼西部コミュニティ協議会会長・吉川中央地区民生児童委員協議会会長・佐藤西部地区民生委員児童委員協議会会長・秋葉区社会福祉協会加藤様・新津松坂協会坪谷様